

## 第 4 章 工業振興計画

---

## 1. 工業の将来像

### ～地域の特性を活かした工業振興～

#### (1) 工業振興の基本的な考え方

少子高齢化社会や精神的豊かさ、生活の質の向上を重視する成熟社会の進展など、社会構造の変化に伴って市場が求める製品や技術は大きく変化しており、企業は、時代の変化に対応した経営基盤の強化、経営革新、IT化など既存の業態の高度化、高質化が求められるとともに、新産業の創出や新たな技術や製品の開発促進などが求められており、変化のスピードに対応することが企業活動の継続と発展に関する重要な要素となっています。

また、近年の団塊の世代の熟練技術者の大量退職、若者のものづくり離れなどを契機として、製造業における熟練技術者と若年後継者の不足は既に顕在化しており、本市においても、将来の工業を担う中核的な人材の確保・育成が重要な課題となっているのが現状です。

このため、公的な支援策についても従来の資金融資制度、助成制度等に加え、経営相談会の活用や研究開発のため産学官の連携の推進、及び新技術や新製品の開発、販路拡大などを図るための企業間交流や異業種交流の充実など、多岐にわたる支援を展開することが重要となっています。

さらに、本市の工業振興を図り人材の育成を図るためには、特色のある地元企業を広く市民に紹介し、ものづくり企業への関心を深めてもらうとともに、地域との連携を推進することにより、子どもから大人まで全ての市民に対してものづくりの精神を育み、技術と技能を継承し、これらを高度化することができる人材の確保・育成を推進することも今後の本市の工業振興を図るうえで重要な要素であると考えられます。

以上を踏まえ、東京湾アクアラインをはじめとする交通利便性、羽田・成田両空港への至近性、かずさアカデミアパークの先端性、豊かな自然などの地域特性を活かした特色と先端性のある工業への展開を図るとともに、既存企業・かずさアカデミアパークの立地企業・木更津工業高等専門学校、市民、行政とが連携して工業振興を図るものとします。

## 2. 工業振興の基本目標と基本方針

工業の将来像「地域の特性を活かした工業振興」の実現に向け、本市の既存立地製造業等がめざす3つの基本目標を設定し、その達成に向けて基本方針を次のとおり定めます。

### 基本目標 1. 変化に対応した工業（ものづくり）活動の推進

#### ■ 基本方針

##### (1) 企業の技術開発等への支援

- 企業の経営革新を支援するため、商工会議所、商工会と連携を図りながら専門家の派遣・指導をはじめ、資金融資制度や助成制度の利用を促進します。
- IT化、少子高齢化、消費者ニーズの多様化、産業構造の変化など時代の変化に対応できるよう、企業の経営の安定化を図るため、地元企業や、かずさアカデミアパーク・木更津工業高等専門学校・国・県などの教育・研究機関、産業支援機関、行政等が連携した支援体制を確立し、地元企業に対する相談機能や新産業・新技術情報等の提供機能の情報集約を図ります。
- 時代の変化に即した新商品・新技術の開発、企業の高品質化への取組などを支援するため、研究機関、木更津工業高等専門学校などと連携を図り、高品質化に向けた技術開発や品質管理、分析技術などに関する地元企業の技術習得を支援します。

##### (2) 起業・創業等の新しい展開への支援

- 起業・創業を促進するため、関係機関と連携して指導・相談体制を充実するとともに、地域内外の企業交流を活発にし、新しい事業に挑戦する起業家を支援します。
- かずさアカデミアパーク内にあるインキュベーション機能を活かし、成長産業として期待される健康・医療分野、環境・エネルギー分野等での起業及び創業を関係機関等と連携し支援します。

### 基本目標 2. 多様な主体との連携・協働の推進

#### ■ 基本方針

##### (1) 企業間の連携の推進

- 企業間の情報交換を促進し、技術開発、製品開発、新たな取引先の開拓、販路の拡大等の機会、その他受発注等の共通課題の解決に取り組む企業連携の機会を広げるため企業情報交流会、異業種交流会などを積極的に開催します。

##### (2) 産学官の連携の推進

- 木更津工業高等専門学校の産学連携事業の活用、異業種交流、「(仮称)木更津産業祭」などの開催により、産学官の連携、協働を推進し、起業・創業、新技術、新製品の開発を促進します。
- 企業の新しい業態への展開を支援するため、産学官連携による産業・企業情報の提供体制の構築を検討します。

### (3) 地域との連携の推進

- 関係団体と行政が連携し、ものづくり中小企業の優れた技術に裏打ちされた創造力にあふれた製品等の開発を促進し、地域ブランド認証制度の創設を検討します。
- 企業と地域・市民との交流の機会としての「(仮称) 木更津産業祭」を検討します。

## 基本目標3. ものづくり人材の育成と確保

### ■ 基本方針

#### (1) ものづくり人材の確保

- 関係機関と連携を図りながら、就職合同説明会や企業情報交換会などを実施し、企業と学生等の交流の場を設けるなど地元企業への就職を促進します。
- 企業が求める人材の内容について、企業ニーズの把握に努めるとともに、木更津工業高等専門学校や産業支援機関と連携を図りながら、人材の確保を支援します。

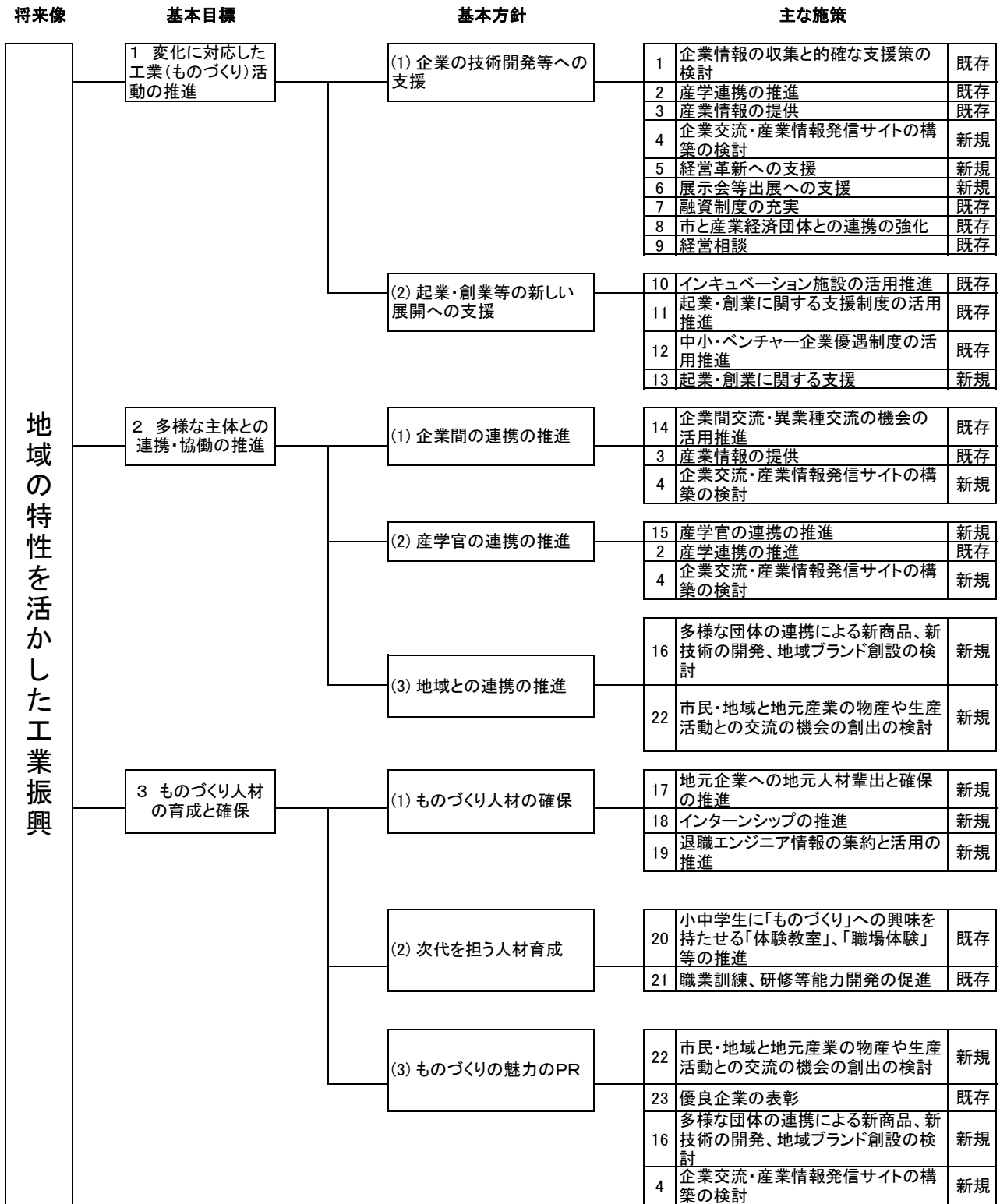
#### (2) 次代を担う人材育成

- 市内の児童・生徒を対象とした「ものづくり体験事業」や地元企業や木更津工業高等専門学校による小中学校への出前授業などを実施するなど、「ものづくり」に対する興味と関心を高めるようにし、後継者の育成を図ります。
- ポリテクセンター君津（独立行政法人 高齢・障害・離職者雇用支援機構 君津職業能力開発促進センター）・君津郡市職業訓練校と連携し、センターが実施している離職者の再雇用訓練などをPRし、若年層に向けた人材育成活動を推進します。

#### (3) ものづくりの魅力のPR

- 市内のものづくり企業を中心にその活動と成果を市民に紹介し交流を深め、クリエイティブな魅力に触れる機会として「(仮称) 木更津産業祭」を検討します。
- 製造業はものをつくるクリエイティブな産業であることを市民、及び若い世代にPRし、若年層の魅力ある就業先としてアピールします。
- 若年層に、製造業が3K産業であると思われ、就業先として敬遠されている面もあることを考慮し、ものづくり現場の先端性、将来性等の魅力を広く市内の学生にPRし、市内の若年層の地元定着を図ります。
- 既に木更津商工会議所で実施していますが、優れた技術を有する企業や次世代に夢を与える(引き継ぐ)企業などを優良企業として表彰又は商工会議所の会報等で紹介し、企業魅力をPRします。

### 3. 木更津市工業振興計画施策体系



#### 4. 工業振興の施策

基本目標1. 変化に対応した工業(ものづくり)活動の推進

##### ■ 基本方針 (1) 企業の技術開発等への支援

No.	区分	施策名	施策概要	実施主体	スケジュール						
					H26	H27	H28	H29	H30	H31~H35	
1	既存	企業情報の収集と的確な支援策の検討	商工会議所・商工会などの経営相談会、企業訪問などによる企業情報や企業ニーズの収集に基づく、的確な支援策を検討します。	市産業経済団体	継続実施						
2	既存	産学連携の推進	千葉県産業支援技術研究所や木更津工業高等専門学校等と連携を図り、高品質化に向けた技術開発や品質管理、分析技術などの技術習得を推進します。	産業経済団体 研究・教育機関	継続実施						
3	既存	産業情報の提供	中小企業支援制度や市内・県内をはじめ県外も含めた展示会やセミナーなどの産業関連の情報提供を広報やホームページなどにより行います。	市産業経済団体	継続実施						
4	新規	企業交流・産業情報発信サイトの構築の検討	製造業を中心に企業情報を紹介し、市内外の企業間の交流を図ったり、中小企業支援制度、セミナー、展示会等の産業関連の情報を一元的に発信する専門サイトの構築を検討します。	市産業経済団体			検討	実施			
5	新規	経営革新への支援	積極的に経営革新に取り組む中小企業を支援するため、商工会議所、商工会と連携を図りながら専門家の派遣・指導をはじめ、中小企業新事業活動促進法に基づく経営革新計画申請などへの支援を行います。	市	実施						
6	新規	展示会等出展への支援	大規模な展示会等へ出展する中小企業への出展料の一部を助成し、販路拡大を支援します。	市	実施						
7	既存	融資制度の充実	事業に必要な運転資金や設備投資資金の調達を支援し、中小企業の経営安定や事業展開を促進するため、融資利率、融資枠、融資メニュー、利子補給などの充実に努めます。	市	継続実施						
8	既存	市と産業経済団体との連携の強化	定期的な連絡会議の開催などにより市と商工会議所・商工会・商店会連合会などの連携を強化し、支援事業・活動の見直し、充実を検討します。	市産業経済団体	継続実施						
9	既存	経営相談	経営相談会の開催、コンサルタントの派遣等による経営支援を推進します。	産業経済団体	継続実施						

##### ■ 基本方針 (2) 起業・創業等の新しい展開への支援

No.	区分	施策名	施策概要	実施主体	スケジュール						
					H26	H27	H28	H29	H30	H31~H35	
10	既存	インキュベーション施設の活用推進	地域産業の高度化を図るため、かずさアカデミアパークにおけるインキュベーション施設の活用を推進します。	市産業経済団体	継続実施						
11	既存	起業・創業に関する支援制度の活用推進	県が行う起業・創業に関する支援制度の情報提供を行い、活用を推進します。	市産業経済団体	継続実施						
12	既存	中小・ベンチャー企業優遇制度の活用推進	県が行う中小・ベンチャー企業に特化した優遇制度の情報提供を行い、活用を推進します。	市産業経済団体	継続実施						
13	新規	起業・創業に関する支援	商工会議所、商工会等と連携し、起業・創業に関する講座、相談、融資等、総合的に支援し、市内の起業・創業を促進します。	市産業経済団体		検討	実施				

基本目標2. 多様な主体との連携・協働推進

■ 基本方針 (1) 企業間の連携の推進

No.	区分	施策名	施策概要	実施主体	スケジュール						
					H26	H27	H28	H29	H30	H31~H35	
14	既存	企業間交流・異業種交流の機会の活用推進	技術開発、製品開発、新たな取引先の開拓、販路の拡大等の機会となる、商工会議所の異業種交流プラザやかずさアカデミアパーク経済対策協議会のビジネスマッチング等の企業間交流・異業種交流の情報の周知を行い参加を促進します。	市産業経済団体	継続実施						
再掲(3)	既存	産業情報の提供	再掲								
再掲(4)	新規	企業交流・産業情報発信サイトの構築の検討	再掲								

■ 基本方針 (2) 産学官の連携の推進

No.	区分	施策名	施策概要	実施主体	スケジュール						
					H26	H27	H28	H29	H30	H31~H35	
15	新規	産学官の連携の推進	商工会議所・商工会や木更津工業高等専門学校等の教育・研究機関との連携によるセミナー等の共同開催を推進します。	市産業経済団体 研究・教育機関		検討	実施				
再掲(2)	既存	産学連携の推進	再掲								
再掲(4)	新規	企業交流・産業情報発信サイトの構築の検討	再掲								

■ 基本方針 (3) 地域との連携の推進

No.	区分	施策名	施策概要	実施主体	スケジュール						
					H26	H27	H28	H29	H30	H31~H35	
16	新規	多様な団体の連携による新商品、新技術の開発、地域ブランド創設の検討	関係団体と行政の連携による、ものづくり中小企業の優れた技術に裏打ちされた創造力にあふれた製品、アイデア商品(消費財)の認証制度(「木更津ブランド」認証制度等)の創設を検討します。	市産業経済団体			検討	実施			
再掲(22)	新規	市民・地域と地元産業の物産や生産活動との交流の機会の創出の検討	再掲								

基本目標3. ものづくり人材の育成と確保

■ 基本方針 (1) ものづくり人材の確保

No.	区分	施策名	施策概要	実施主体	スケジュール						
					H26	H27	H28	H29	H30	H31~H35	
17	新規	地元企業への地元人材輩出と確保の推進	地元企業へ優秀な人材を排出するための工業高校の誘致を推進します。 また、地域の学生を対象に地元企業の合同就職説明会を開催し、人材の確保に努めます。	市産業経済団体		検討	実施				
18	新規	インターンシップの推進	地域の学生を対象に、ものづくり中小企業の魅力を体験するインターンシップ等の実施を検討します。	市産業経済団体事業者		検討	実施				
19	新規	退職エンジニア情報の集約と活用の推進	定年を迎える技術者等の情報を集約し、技術の継承推進を図ります。	市産業経済団体			検討	実施			

■ 基本方針 (2) 次代を担う人材の育成

No.	区分	施策名	施策概要	実施主体	スケジュール						
					H26	H27	H28	H29	H30	H31~H35	
20	既存	小中学生に「ものづくり」への興味を持たせる「体験教室」、「職場体験」等の推進	研究機関、教育機関、企業等による小中学生を対象とした「ものづくり体験」教室や出前講座の開催を推進します。	市研究・教育機関事業者	継続実施						
21	既存	職業訓練、研修等能力開発の促進	ポリテクセンター君津における離職者再雇用訓練、君津郡市職業訓練校における職業に必要な知識・技能の習得の訓練などを若年層に向けて積極的なPRを推進します。	市就労支援機関	継続実施						

■ 基本方針 (3) ものづくりの魅力のPR

No.	区分	事業名	事業概要	実施主体	スケジュール						
					H26	H27	H28	H29	H30	H31~H35	
22	新規	市民・地域と地元産業の物産や生産活動との交流の機会の創出の検討	市民が本市の製造業の未来を誇りに思い、若年層にはクリエイティブな製造業の魅力に触れ、感じてもらう「(仮称)木更津産業祭」の開催を検討します。	市産業経済団体研究・教育機関	検討		実施				
23	既存	優良企業の表彰	「木更津市の優良企業」としての表彰や企業の特徴や魅力の紹介を推進します。	産業経済団体	継続実施						
再掲(16)	新規	多様な団体の連携による新商品、新技術の開発、地域ブランド創設の検討	再掲								
再掲(4)	新規	企業交流・産業情報発信サイトの構築の検討	再掲								